議事録

会議名	平成３０年度交付分　第一回市民企画事業補助金申請事業評価会議
日時	平成２９年１２月９日（土）　午後１時３０分　～　３時３０分
場所	八王子駅南口総合事務所（会議室）
参加者	新田目夏実、小室崇司、小山聖奈、白石育夫、土屋和子、蒲原正之、久保律子（敬称略）
事務局	岩田充協働推進課長、田島宏昭主査、朝日知恵子主任
議題	１　委員の自己紹介 ２　事務局の紹介 ３　市民企画事業補助金申請事業評価会議について ４　座長・副座長の選出 ５　平成３０年度補助対象事業の募集及び評価のスケジュール等について ６　その他
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
配付資料	資料 1-1　市民企画事業補助金申請事業評価会議　参加者名簿 資料 1-2　市民企画事業補助金申請事業評価会議開催要綱 資料２　　平成 30 年度 市民企画事業補助金補助対象事業 募集要項（案） 資料３　　平成 30 年度 市民企画事業補助金申請事業 評価の流れ 資料４　　平成 30 年度 市民企画事業補助金補助対象事業の審査に関する取扱要領 資料５　　平成 30 年度 市民企画事業補助金　補助対象事業の採択基準（案） 資料６　　平成 30 年度 市民企画事業補助金　事務日程表（案） 参　考　　①審査体制・方法・評価項目等一覧 ②これまでの応募・採択件数および交付金額の推移 ③市民活動団体の皆様へのアンケート調査（調査票）
会議の内容	① 岩田協働推進課長 挨拶
	② 各参加者の自己紹介
	③ 事務局職員の紹介
	④ 市民企画事業補助金申請事業評価会議及び平成３０年度補助対象事業の募集等について 事務局 市民企画事業補助金申請事業評価会議開催要綱を基に、参加者の役割等について事務局が説明。 ・申請のあった事業を評価すること ・補助金の執行や制度の運営に関して必要な助言を行うこと

会議の内容	また、資料２を基に制度の概要と補助対象事業の募集について説明。 ＜質疑応答＞ 委　員 募集要項の中で「提出書類」があり、過去３年間の活動実績を新規で応募する団体のみに限定して提出を求めているが、１年前に立ち上がった団体が応募する場合、過去１年間の実績しかないが問題があるか。また、新たな団体は、団体設置の成り立ちがわかる資料も提出していただきたい。 事務局 新規で１年前に立ち上がった団体については、１年間の活動実績で問題ない。成り立ちに関する資料は、新たな団体に、追加資料を求めると、提出書類が多い中で団体側が苦慮することが想定できる。ただ、ご意見は今後の参考とする。 委　員 事業収支の書類で、国の補助金などでは、謝礼金は１万円までと上限を設けていることがあるが、この補助金は上限を設けていないのか。 事務局 他の自治体では、謝礼金については上限を設けている場合があるが、本制度では設けていない。 委　員 しかし、いくらでもとはいかないと思うので、常識の範囲内でとのことでよろしいか。 事務局 そのとおり。収支のバランスがとれていればよいと考える。 委　員 補助金予算額はどのくらいか。 事務局 予算的な枠組みは、今年でいえば８００万円計上している。
	⑤　座長、副座長の選出 要綱第４条に基づき、互選により選任することになっているが、事務局からの提案により、以下のとおり決定した。 座　長：新田目委員 副座長：小室委員

会議の内容	＜以降、新田目座長が進行＞ ⑥ 平成 30 年度補助対象事業の評価方法及びスケジュールについて 事務局 資料３、４、５、６及び参考①により、評価の方法及び日程等について説明。 ＜質疑応答＞ 座　長 継続して委員になられている方から、新たな委員に対して、各様式の使い方や、評価を行ううえで参考となるシートの見方など、評価を行う際の注意点や助言はあるか。 委　員 昨年までと同じ流れだと、B 部門への応募事業はプレゼンテーションを見ないと評価ができないため、A 部門の評価についてとにかく先に整理をした。B 部門も、応募事業に関連する市の所管課による予備評価等の資料で、あらかじめ自分なりに整理をしてからプレゼンテーションを聞いた方がその後の整理が早くできる。 委　員 自分の知識が狭い中、予備評価シートなど事務局が作った資料は大変良くできているので、とても参考になる。 委　員 この補助金は、謝礼金の話もあったが、大変柔軟であり、分野を問わず受け付けているので、補助金の制度としては大変良い。 座　長 これまで過去に評価した中で、応募団体の注意点や評価のポイントが３点ある。これらに留意して評価を進められたい。 ① 企画の意味や事業費の使い方が不明確な事業ではないか。 ② 自分の団体のことだけではなく、公益性はどう考えているのか。 ③ 政治・宗教を含め、法令的に問題がない事業か。
	⑦ その他 ＜今後の評価会議開催日程について＞ 事務局 今後のスケジュールについて、資料６「事務日程」で説明。 ・ 第一回評価会議（本日の会議となる） ・ 第二回評価会議（公開プレゼンテーション） 平成３０年４月１４日（土）クリエイトホール　視聴覚室 ・ 第三回評価会議 平成３０年４月２１日（土）八王子駅南口総合事務所　会議室

会議の内容	・ 平成２９年度交付事業　成果報告会 平成 29 年６月 23日（土）確定ではないが、クリエイトホール　視聴覚室を考えている また、平成２９年度交付事業の概況について、配付資料最後に添付した「事業の進捗状況」で説明。 ＜全体的な事項の質疑応答＞ 委　員 配付資料「事業の進捗状況」で平成２９年度の補助金額を拝見すると、全事業で４５０万円程度の交付であり、予算額との乖離があるようだが、理由はいかがか。 事務局 事業内容を精査したうえで補助決定を行っているので、現在の応募状況だと、この執行状況になる。本来は、多くの団体に補助したいが、予算額全額を執行する考え方ではないため、現時点では不用額が生じている状況。 委　員 今後のスケジュールの中で、公開プレゼンテーションは一般市民の傍聴も可能か。 事務局 可能である。 委　員 公開プレゼンテーションにおいて、評価委員による応募団体への質疑の後、傍聴している一般市民の方に、挙手していただき、感想を募るといった方法はいかがか。三鷹市で取り入れているので参考にしてみてはどうか。 事務局 現行のやり方では、挙手ではないが、一般で来られた方に簡単なアンケート用紙をお配りし記入していただいている。それを事業毎に集約し、プレゼンテーション直後に委員の皆様にお配りしている。 委　員 アンケートも良いが、その場で挙手すると、見に来られた方にも、参加している実感が得られる。そうすると、傍聴の方も、次回は自分たちも応募できるのではないかという意識が芽生えて、応募者も増えると考える。 事務局 この意見は検討する。

会議の内容	委　員 　募集に関する周知は、いつからどのように行われるのか。 事務局 　周知は２月７日から市の公式ホームページで開始して、２月１５日号の「広報はちおうじ」に掲載する。また、はちコミねっとに登録していただいている団体には、メールマガジンでも募集記事を配信する。 委　員 　本日で、概ね募集に関する了承は得られたと思うので、ここで告知開始とはならないか。告知だけでも進められないか。 事務局 　事務局としても、告知は早めに行いたいところであるが、２月上旬の平成 30 年度予算の公表に合わせている。これは、本来、市議会で予算案が議決される３月末にならなければ、補助対象事業の募集ができないところ、２月上旬の「公表」のタイミングでほぼ予算案の内容が確定することから、この時期に募集を開始しているものである。補助金の原資となる予算が定まってからでなければ、募集を呼びかけることができないため、このようなスケジュールとなっている。 委　員 　交付決定にかかる事務については、予算の決定を待って進めるのか。また、評価のスケジュールがタイトになっているのもその影響か。 事務局 　その通り。予算議決後、交付に関する事務に取り掛かっている。評価のスケジュールを速やかにして、可能な限り年度当初に交付決定を行っている。これは、本来は交付決定後でなければ団体の事業にかかる支出を補助対象経費として認められないが、内部の手続きで、交付決定日前の４月当初からの事業費も、補助金の対象経費として認めているためである。 委　員 　では、実際に補助金が交付されるのはいつごろになるか。 事務局 　５月下旬になる。 委　員 　東京都や他市に比べると、この制度の方が交付は早い。 委　員 　応募団体は、補助金の交付決定を担保に、信用金庫などから融資を受けられると、補助金の交付が遅くても持ち出しがなくなる。この制度だと、事業費が１００万円なら事前に１００万円を持っていないと応募ができない。その辺りを地元の信用金庫と共に、なんとかできないものか。

会議の内容	委　員 　どの事業も、イニシャルコストで１００万円が始めから必要ではないので問題ない。一般的に、最初は事業費の３５～３６％で収まるので、活動に支障があるレベルではない。 委　員 　応募団体にとって大変なのは、提出書類の多さである。応募を予定している補助金であれば、事前に準備をしておくことが可能である。しかし応募の時に、昨年と全く異なる様式に変更されると混乱してしまうので、できるだけ前年度と同じ様式にしていただきたい。 事務局 　現時点では、様式に大きな変更点はない。 事務局 　提出書類については、窓口に来られた団体に対して、書き方も含め、丁寧に対応している。長い時は、半日かけて対応する場合がある。採択されるためにはどう書いたら良いかアドバイスするなど、団体に寄り添った対応をしている。 委　員 　採択された後のフォローはいかがか。 事務局 　はちコミねっとに登録していただくことをお願いしている。また、NPOパワーアップ講座への参加をお願いしている。この講座は、市民活動団体の事務局機能の向上を目的に、市民活動支援センターで月１回、年間８回程度実施している。 閉会